

「国語」専門領域

1 「国語」専門領域とは

「国語」専門領域は、言葉や文字、文化、言葉の教育などに興味のある人に考える場を確保する専門領域です。国語の運用に関する研究も扱うという意味では、あらゆる領域の基礎をなす場であるとも言えるでしょう。

この領域は、大きくふたつに分類することも可能です。まず、具体的に教室で国語をどのように教えるのか、という実践的な領域。ついで、教室で国語として教える内容をより深く探求する研究的な領域です。もちろん両者は相互交通的な関係にあります。言葉と文化をめぐる専門領域なので、どのゼミに所属しても数多くの本や文献を読むことが必須となります。

2 取得できる免許

小学校教諭一種免許のほか、**中学校教諭一種免許（国語）**を取得することが、必要です。

また、副免許として、**高等学校教諭一種免許（国語）**および**高等学校一種免許（書道）**を取得することができます。

3 2026年度在籍教員

※2021年度以前の卒業論文の題目は、『横浜国大 国語研究』（<https://qrtn.jp/7yzvrzk>）に掲載されています

専門分野	主な担当授業科目
氏名	現在の研究課題
	最近の卒業論文例／指導可能な卒業論文例
近現代文学	「日本文学講読Ⅱ」「日本文学講義Ⅱ」
児島 春奈	永井荷風を中心とする日本近現代文学の研究 ジャポニズムをはじめとした日仏比較文化研究
	<ul style="list-style-type: none">● 「走れメロス」再読のススメ ―一元的な視点からの脱却● 『推し、燃ゆ』に見る破壊と再生 ―現代社会に潜む常識の押し付け

書写・書道	「中等教科教育法（書道）」「書写実技」「書法Ⅰ・Ⅱ」
青山 浩之	書写書道教育の指導論および授業研究 文字を手書きする意識、感覚と技能に関する研究
	<ul style="list-style-type: none"> ● 流行り文字の研究—女性と文字の関係から今後を考える— ● 学校教育における「ノート」作成の意義と効果的な利用に関する研究 ● 小学校国語科書写における書字動作の指導に関する—考察 ● 手書き文字とデジタル文字の「親しみやすさ」に関する研究—手書き文字の有用性を踏まえて— ● GIGA スクール構想の進展と手書き入力に関する課題
国語学	「日本語学概説」「日本語史」「日本語学演習」
古田 恵美子 ※本年度定年	日本語を中心とする言語の歴史についての研究 古代・中世の言語生活の研究
	<ul style="list-style-type: none"> ● 「室町時代の能本・謡本における濁点表記について」 ● 「あざとい」の語誌について ● 副助詞「は」の研究——学校文法における「は」の説明の整理を目指して—— ● オノマトペ「ぺしょぺしょ」とその周辺の語に関する考察
中国古典文学	「中国古典文学講読」「中国古典文学講義」
高芝 麻子	唐詩を中心とした中国の古典文学研究 江戸・明治時代の日本の漢詩漢文研究
	<ul style="list-style-type: none"> ● 『荀子』における聖人到達可能論について ● 異文比較から見る干宝『搜神記』の編纂意図 ● 柳宗元「江雪」にみえる漁師像についての分析—王維・孟浩然との比較を中心に— ● 『源氏物語』須磨巻における白居易詩文引用の影響 —白居易と源氏のギャップに着目して—
国語教育	「初等教科教育法（国語）」「国語教育演習Ⅰ」
石田 喜美	国語教育・読書教育におけるゲーム マイノリティを包摂する国語教育カリキュラム・教材の研究
	<ul style="list-style-type: none"> ● ポスト真実の時代におけるモキュメンタリー作品—情報を「再構築」する読

	<p>みの育成—</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「論理国語」における文学の教材化—“読者推理型小説”に焦点を当てて ● 中高接続期における不読率上昇の質的側面—テキスト要因に着目して—
--	--

4 もっと知りたい人のために

【学会・研究会機関誌】

横浜国立大学国語教育研究会 『横浜国立大学国語教育研究』 <https://qrtn.jp/6rtqrqd>

横浜国立大学国語日本語教育学会 『横浜国大 国語研究』 <https://qrtn.jp/7yzvrzk>

横浜国立大学古典教育デザイン研究会 『古典教育デザイン』 <https://qrtn.jp/ss9xf4u>

【学会・研究会ホームページ・ブログ】

横浜国立大学国語教育研究会 <http://ynukokugo.blogspot.com>